

2023年11月30日

**オリンパス、SBTi からネットゼロ目標の認定を取得**  
**サプライチェーン全体の温室効果ガス排出量を 2040 年までにネットゼロへ**

[オリンパス株式会社](#)（以下、オリンパス）は、SBTi<sup>\*1</sup>（The Science Based Targets initiative）からネットゼロ<sup>\*2</sup>目標の認定を取得しました。2023年5月に発表した[経営戦略](#)におけるサプライチェーン全体の温室効果ガス排出量（Scope1、2、3<sup>\*3</sup>）を2040年までにネットゼロとする目標を対象としており、パリ協定で定められている「1.5°C目標」の水準と整合したものであるとして認定されました。本認定には、2031年3月期までに温室効果ガス排出量（Scope1、2）を70%削減するという短期目標も含まれております。



オリンパスグループは、環境汚染や環境に影響を与える人間活動がもたらす気候変動、その他の生態系への影響は早急に対処すべきであると考えています。2021年5月に新たに「社会と協調した脱炭素・循環型社会実現への貢献」を重要課題（マテリアリティ）に追加し、脱炭素社会の実現に広く貢献するために、2023年5月にはサプライチェーン全体の温室効果ガス排出量（Scope1、2、3）を2040年までにネットゼロとする目標を策定し発表しました。そしてこのたび、SBTiよりオリンパスグループの短期目標及びネットゼロ目標がパリ協定で定められている「1.5°C目標」の水準と整合したものであるとの認定を取得しました。

● **ネットゼロ目標**

2040年までにサプライチェーン全体で温室効果ガス排出量（Scope1、2、3）のネットゼロ達成

● **短期目標**

- ・2031年3月期までに温室効果ガス排出量（Scope1、2）を2020年度基準年から70%削減
- ・2028年3月期までに当社サプライヤーの80%が科学的根拠に基づく温室効果ガス削減目標を設定（購入した製品やサービス、資本金、上流の輸送・流通の排出量ベース）

### 取締役 代表執行役 会長兼 ESG オフィサー（ESG 担当役員）竹内 康雄 コメント

「当社は当社の存在意義である『世界の人々の健康と安心、心の豊かさの実現』のため、ESG の考え方を経営戦略に組み込み、さまざまな取り組みを積極的に展開しております。これまでの取り組みの結果、2023 年 3 月期においては、温室効果ガス排出量を対 2020 年 3 月期比で 45.7%削減、再生可能エネルギー由来の電力導入率 71.9%を達成しました。今回の進展は、目標を設定し、その達成に向けて努力してきたことが評価されたものだとして認識しています。今後も目標の達成に向け、世界各国の拠点での継続的な製造改善活動、省エネの推進、再生可能エネルギーの導入を進めるとともに、環境配慮型製品の開発や物流効率改善、サプライヤーとの協働による自主削減目標の設定、脱炭素活動への支援に取り組んでいきます。」

### Science Based Targets initiative CEO ルイス・アマラル コメント

「気候科学によると、グローバル・ネットゼロを達成し、気候変動による最も深刻な影響を防ぐためには、迅速かつ大幅な温室効果ガス排出量の削減が必要です。オリンパスのネットゼロ目標は、気候危機の緊急性に合致しており、他社が追随すべき明確な模範を示しています。」

- ※1 WWF、CDP、世界資源研究所（WRI）、国連グローバル・コンパクトによる共同イニシアティブです。企業に対し、気候変動による世界の平均気温の上昇を産業革命前と比べ 1.5 度に抑えるという目標に向けて、科学的知見と統合した削減目標を設定することを推進しています。
- ※2 最新の気候科学（1.5℃シナリオ）に沿って温室効果ガス排出量(Scope1、2、3)を可能な限り削減(90%以上)し、残存する温室効果ガス排出量(10%未満)に相当する量を炭素吸収・除去由来クレジット(植林やCO2回収・貯留など)で均衡させることです
- ※3 Scope 1：敷地内における燃料の使用による直接的な温室効果ガス排出  
Scope 2：敷地内で利用する電気・熱の使用により発生する間接的な温室効果ガス排出  
Scope 3：その他の間接的な温室効果ガス排出（Scope1、Scope2を除く）

#### < 本件に関するお問い合わせ先 >

- 報道関係の方：オリンパス株式会社 コミュニケーションズ 湯浅  
TEL：070-3923-6064 メールアドレス：Global-Public\_Relations@olympus.com
- ホームページ：<http://www.olympus.co.jp>

#### ▪ オリンパスグループの ESG の取り組み

ESG の取り組みに関する詳細は、[サステナビリティページ](#)をご覧ください。

本リリースに掲載されている社名及び製品名は各社の商標または登録商標です。

## オリンパスについて

オリンパスは「私たちの存在意義」として掲げる、世界の人々の健康と安心、心の豊かさの実現を目指しています。世界をリードするメドテックカンパニーとして、私たちは医療従事者の方々と共に、病変の早期発見、診断、そして低侵襲治療に役立つ最適なソリューション・サービスの提供を通じて対象疾患における医療水準の向上に貢献してまいります。創業から100余年、オリンパスはこれからも世界中のお客様に最適な価値をもたらす製品を提供することで、社会への貢献を目指します。詳しくはオリンパスの公式サイト ([www.olympus.co.jp](http://www.olympus.co.jp)) ならびにX ([@Olympus\\_Corp\\_JP](https://twitter.com/Olympus_Corp_JP)) をご覧ください。

